

# ハローワーク岡山 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 就職氷河期世代対象者への積極的な対応

就職氷河期世代の就職促進は国を挙げて取り組んでいる課題であり、就職活動を行うにあたり自分自身に自信が持てないと話す者も多く見受けられることから、セミナー・面接会等を定期的に開催するとともに、おかやま地域若者サポートステーションとの連携において意見交換やセミナー講師として参加することで連携強化を図り、引きこもり者等へのアプローチを積極的に実施した。

これらの取り組みにより正社員就職件数1、069件の成果をあげることができた。

#### ② 窓口利用者（リピーター）を増やすための取組み（求職者マイページの利用促進）

求職者マイページの利用率が低調であるため、令和5年11月より職業相談窓口において求職者マイページ未開設の方に対して、求職者マイページの開設促進を図り、その場において開設・利用までを行う取組を開始し、求職者マイページを活用した求人情報の提供を促進することにより、窓口職員のマンツーマン担当者制対象者に対して、求人情報提供・各種面接会・セミナー等のイベント案内を強化することで、来所者数、紹介件数、就職数の増加に繋げる取組みを実施した。

この取組により20%台で推移していた利用率は、令和6年3月末時点で40%台に到達した。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

#### ○ ハローワークプラザ岡山（岡山駅前求職者窓口、おかやまマザーズハローワーク）の更なる周知・広報

新型コロナウイルス感染症の影響から、岡山駅前に立地する「岡山駅前求職者窓口」「おかやまマザーズハローワーク」の利用者数の減少が見られている。ハローワークプラザ岡山は、岡山駅を利用する者にも利便性が高く、開庁時間の延長・土曜日開庁などの在職者サービスを実施しており、職業紹介に特化した施設であり、又、おかやまマザーズハローワークは子供連れでも安心して来所して仕事探しができる環境と体制を整えており、子育て等で就労へのブランクの有る者にとって心強い存在であることから、ハローワークプラザ岡山の利便性の良さ等について、人通りの多いイオンモール岡山とJR岡山駅を結ぶ地下道に設置されている広告掲示エリアに大型カッティングシート広告を貼り出し周知・広報を図るとともに、おかやまマザーズハローワークにおいてはセミナー等を通じて、再就職に不安を抱く者に自信を与えるなど、独自性の高い取組みにより利用者数の増加を図ったところである。緩やかではあるが利用者の増加に繋がっているものと分析する。

### (3) その他の業務運営についての分析等

- ① 令和4年度以降、新規求職者が減少しており、これはインターネットを活用した求人情報サイトを利用し、容易に再就職を進める傾向があるものと考えている。  
来所者への積極的な求人情報の提供に加え、模擬面接の実施、応募書類の内容添削など、対面による相談でなければ提供できないサービスをしっかりと実施し、来所者への満足度を高めていく必要がある。
- ② 新規求職者が減少する中、55歳以上の高年齢者は増加傾向で推移しており、今後も増加傾向は継続するものと思われる。  
生涯現役支援窓口を中心に求職者のニーズを的確に把握し、求人開拓を進めていくとともに、60歳以上の方を対象とした再就職支援セミナーや再就職ガイダンスを開催し、マッチングの促進を図る。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

- ① 窓口利用者（若年者層）を増やすための取組み  
令和5年11月から職業相談窓口において求職者マイページの開設・利用開始までを行う取組を開始し、求職者マイページ利用率を40%台まで底上げを行ったが、求職者マイページを活用した効果的な取組ができていないため、更なる求人情報の提供と求職者担当者制対象者の取り込みを積極的に行う。加えて各種面接会・セミナー等のイベント等の案内の強化を図る。  
更にオンライン職業紹介を積極的に推進する。
- ② 職員・非常勤職員の専門性の向上を図るべく、定期的にミニ事例検討会を開催し、課題に対する相談の進め方や考え方等について討議を行い、その討議内容を共有することで課題解決の相談の進め方の選択肢を広げ、相談内容の質の向上と次回に繋がる職業相談の実施に取り組む。

## 2. 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により、 正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	生活保護受給者等の就職率	障害者の就職件数	新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等（既卒者含む）の正社員就職件数	マザーズハローワークにおける担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数		
令和5年度目標	7,036	8,654	2,464	90.0%	90.0%	940	64.6%	571	1,832	95.1%	212		
令和5年度実績	6,053	7,763	2,456	93.8%	91.7%	1,069	60.8%	630	1,901	101.1%	224		
目標達成率	86%	89%	99%			113%	94%	110%	103%	106%	105%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

# ハローワーク津山 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、新規求職者の取り込みとオンラインサービス伸展の取組を重点的に行った。面接会・説明会の開催については、令和4年度に開催したシニアを対象としたシニアワーク津山の開催地域を拡大し、津山市・真庭市・美作市の3会場で開催した。特に、真庭については、若者を雇用する機会に限られる地域性も考慮し、全年齢を対象とした「ふるさとワーク真庭」として開催した。令和5年度の参加者は113人と、令和4年の30人から大幅に増加した。また、効率的に求職活動・採用活動を進めるツールとして、求職者MP・求人者MPの利用促進に取り組んだ。具体的には、求人者MPの求職情報検索など求職申込以外の機能を記載したリーフレットを作成し、利用勧奨を行った。求職者MPについては、MPのメリットを一覧にしたリーフレットを作成し、利用勧奨を行った。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、応募書類の添削に特化した事例検討会を開催し、資質向上を行った。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

雇用保険受給者の早期再就職支援を強化するため、再就職手当の支給額が試算できる所独自リーフレットを窓口や雇用保険説明会等で配布し、早期再就職の勧奨を行った。また、令和4年度は会社説明会等のイベントの参加者が低調であったことから、大学等訪問、LINE公式アカウントによる情報発信、ポスター掲示場所の拡大等の参加勧奨を積極的に行った。その結果、岡山県北就活フェアは前年比56人、466.7%増加、岡山県北地域企業説明会は前年比40人、333.3%増加した。加えて、情報発信を強化しハローワークの利用者を増加させるため、10月から当所LINE公式アカウントによる情報発信を開始した。会社説明会や訓練情報を積極的に配信し、3月末時点のお友だち登録数は815人となった。

### (3) その他の業務運営についての分析等

初めて職業相談業務につく若手職員が複数（3名）おり、年度当初は、事業所訪問や求職者担当者制の進捗が芳しくなかった。今後は、業務が停滞することのないよう若手職員や経験のない業務に就く職員への研修を計画的に実施する。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

求人者MPや電子申請の利用の進展に伴い事業所との接触の機会が減少し、制度周知や事業所情報収集の機会が減少している。このような状況を改善すべく、事業所向けセミナー（求人者MPの活用、魅力ある求人票の作成、労働市場・労働関係法令）の開催等を積極的に行う。

また、求職者MP・求人者MPを開設したものの十分に活用されていないケースが見受けられるため、引き続き求職者MP・求人者MPの活用促進に努める。

## 2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついた就 職氷河期世 代（35歳～ 54歳）の不 安定就労 者・無業者 の件数	障害者の 就職件数	公的職業 訓練の修 了3か月後 の就職件 数	マザーズ ハロー ワーク事 業におけ る担当者 制による 就職支援 を受けた 重点支援 対象者の 就職率				
令和5年度目標	3,222	2,880	864	90.0%	90.0%	250	230	118	95.1%				
令和5年度実績	3,083	2,700	899	78.6%	96.5%	245	222	146	95.7%				
目標達成率	95%	93%	104%			98%	96%	123%	100%				

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

# ハローワーク倉敷中央 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 各指標に対する取組

ハローワーク倉敷中央では、就職件数及び充足数の目標達成を最重要と考え各種取組を行いました。求職者の見極めを的確に行うことに力を入れ、直ちに職業紹介できる求職者については簡易な職業相談で対応することとし、待ち時間の解消を図る一方で、綿密な職業相談が必要な求職者に対しては、これまで以上に能動的なマッチング業務を推進するため、倉敷わかものハローワーク職員によるスカウティング（本所に出向いて職業相談を行い、窓口と比較的余裕がある「わかハロ」へ誘導する取組）や、失業認定日における相談体制の見直し（緊要度の高い求職者へ注力）などを実施しました。

更には、求職者担当者制以外の求職者に対しても「条件アップ求人などの推奨求人」による積極的なマッチングに取り組んだ結果、雇用保険受給者の早期再就職件数、就職支援ナビゲーターの支援による正社員就職件数、就職氷河期世代の正社員就職件数、生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数について目標を達成することができました。

また、若年者の就職支援については、「倉敷わかものハローワーク」において、SNS（LINE@）を活用した情報発信を実施するなど、若年層を中心とした利用者増に積極的に取組み、支援ツールとして、就職支援セミナー、企業説明会・面接会などを実施するとともに、就職支援セミナーの中で利用者満足度が高い「就活サポートセミナー」の一層の充実を図りました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業相談、職業紹介における職員の資質向上を図るため、近隣ハローワークと合同で職業相談に係る事例検討会を実施し、具体的な支援事例を持寄り検討及び意見交換を行うことで、問題点の把握や経験のない課題解決、支援の方法を習得することができました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

新型コロナウイルス感染者数の増減の波が繰返される状況であったことから、WEB会議サービス「TeleOffice」を活用したオンライン事業所訪問を積極的に実施し、職員の専門的知識の向上を図りました。

### (3) その他の業務運営についての分析等

新型コロナウイルスが5類に移行になったことに伴い、事業所訪問及び人手不足分野を中心とした面接会等の各種イベントについて、概ねコロナ禍前の規模で実施するとともに、オンラインを活用したマッチングの促進を積極的に図りました。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

求職者の動向として、55歳以上の新規求職者は増加傾向にあることから、高年齢者を対象としたセミナーや面接会の実施について検討するとともに、減少傾向にある若年層の積極的な取込みのため、倉敷わかものハローワークにおいて開催している就職支援セミナー、企業説明会・面接会の更なる充実を引続き行ってまいります。

また、特に人手不足が深刻化している人材不足分野（医療・介護・保育・建設・運輸・警備）に対しては、積極的な企業説明会・面接会及び企業見学会の実施による充足支援を強化することで、マッチングの促進を図ってまいります。

更には、「ハローワーク倉敷中央」の存在感を高めるため、メディアを活用したPRに引き続き取り組むとともに、地方自治体との情報共有、協力が重要であることから、倉敷市及び総社市との雇用対策協定に基づく各種取組についても推進してまいります。



## 2. 特記事項

ハローワークの熱意を電波に乗せてお届け。SNS時代にラジオ？実は新しい生活様式にぴったり！  
 当所管内全域が放送区域である「エフエムくらしき」の生放送番組に当所職員が出演し、パーソナリティとのQ&A方式によりハローワーク倉敷中央で実施している各種サービスについてお知らせしています。  
 また、月替わりで、ハローワーク倉敷中央の重点周知事項を20秒間に要約したスポットCMを通勤時間帯に流してお知らせしています。  
 (年4回第2火曜日の18:00~18:10頃の約10分間 番組名「夕方ワイド くらしき」三井アウトレットパーク倉敷内「FMくらしき あいらぶスタジオ」から生放送)

## 3. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 4. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により、 正社員就職に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	障害者の就職件数	新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	わかものハローワーク等を利用して、就職したフリーター等のうち、正社員として就職したものの割合	公的職業訓練修了3か月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率		
令和5年度目標	7,270	7,133	2,227	90.0%	90.0%	680	548	815	65.0%	236	95.1%		
令和5年度実績	6,802	6,634	2,520	80.3%	98.3%	587	572	864	71.1%	260	97.3%		
目標達成率	93%	93%	113%			86%	104%	106%	109%	110%	102%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

# ハローワーク玉野 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ① 地域の雇用対策への積極的な取り組み

ハローワーク玉野では、管轄地域の玉野市と地域雇用対策協定を締結し、地域の実情に合わせ、当所新規求職者の約6割を占める高年齢者の面接会を2回、また新規求人数の約4割を占める人材不足分野の面接会6回を開催しました。

人材不足分野については、福祉関係の面接会を2回、地域の交通機関の維持を目的とした、バス・タクシー運転手の面接会を4回開催しました。特に地域性の高い取り組みとして、バス・タクシー運転手の面接会については、玉野市民の高齢化に伴い移動手段としてタクシーの需要は高まっているが、タクシー運転手の高齢化も進んでいるため運転手の人員の確保が必要となっている。地域の交通機関の維持という課題に市とハローワークが連携をして取り組んでいるということで、新聞報道もされました。バス・タクシー運転手の面接会は企業側からの要望も高く、定期開催となりました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

#### ① 求人情報の提供方法の改善

新規求職者の約6割を占める高年齢者に向けて、よりわかりやすく求人情報を提供するため、事務所に「エリア別求人コーナー」を開設しました。管轄市内を4つの地域に分け、地域ごとに特化した求人を掲示及び配架をしました。この求人情報の提供方法は、高年齢者に限らず、通勤エリアが求人応募の際に重要な要件となる子育て世代や障害者の方にとって効果的な情報提供となっています。

#### ② 新たな求職者の来所呼びかけ

ハローワークを利用されていない方への来所の呼びかけとして、玉野市の協力を得てショッピングモール内にある玉野市の情報提供の場及び市が施設を所有する玉野競輪場に、新たに当所が作成した求人情報誌を配置しました。

特にショッピングモールには、ターゲットを主婦・シニア層に絞り、当所既存の情報誌とは異なる表紙や、内容（就業場所が管内でのパート求人の特化している）で作成し、目に留めていただけるよう工夫し、ハローワークのサービス内容も掲載するなど、来所を呼びかけるものとなりました。

### (3) その他の業務運営についての分析等

#### ① 若年労働者の確保

労働者の確保が重要な課題となっており、コロナ禍で中止していた管内の企業団体とハローワーク共催で高校生を対象とした職業ガイダンス「マリン玉野産業フェア」を再開しましたが、コロナ禍前のように市外からの高校生等の参加が無く、令和5年度は玉野市内の高校からのみの参加となりました。玉野市の産業・企業等の情報を提供することにより、玉野地域の産業事情・職業特性等の理解を深め、当地域への就職促進及び職場定着を図ることを目的としたものですが、今後の開催方法が課題となりました。そのため管内は人口減少地域でもあり、市外からも多くの高校生の参加が可能となるような開催方法を今後検討していく必要があります。

また、新規学卒者に限らず、若年者にも管内企業の魅力が伝わるよう、地域との連携を図り新たな就職フェアを実施すること等を検討しています。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

#### ① 求人者サービスの強化

- 認定日に合わせて開催しているミニ面接会については、参加する求人者について、改めて各業種の事業主団体等への情報提供及び、求人者への周知方法の検討を行い、より多くの求人者の利用を促進させます。

また、面接会にあわせて事業所訪問等を実施することで、より詳細な求人情報の収集等を行い、魅力ある情報を提供することで、面接会への参加者の増加及び求人充足を促進させます。

- 利用者満足度調査の結果において、求人者の満足度が68.4%と目標を大きく下回りました。これは、求人の未充足が大きな要因となっていると考えられます。企業の人手不足の状況は続いており、求人者からのハローワークへ寄せる期待も高いと思われます。

このような状況を踏まえ求人充足のため、事業所訪問により求人票に記載されていない事業所情報の収集、求職者への情報提供、ミニ面接会・説明会等のマッチング機会の拡充をし、能動的なサービス提供をすることで、求人者との信頼関係の構築を促進させ満足度の改善を行います。

## 2. 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの 職業紹介によ り、制サインに 結びついた就職 氷河期世代の不 安定就労者・無 業者の件数	人材不足分野の 就職件数	
令和5年度目標	886	679	212	90.0%	90.0%	65	224	
令和5年度実績	825	596	206	68.4%	94.6%	62	181	
目標達成率	93%	87%	97%			95%	80%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

# ハローワーク和気 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

管轄する2市1町における人口減少が進むなか、ハローワーク利用者の減少も顕著であることから、ハローワークの利用者を増加させることを最重要課題として取り組むこととしました。まずはハローワークのサービスメニューの周知のため、求職者には積極的に求人情報の提供を行ったほか、長期間ハローワークを利用していない求職者に対して、DMにより来所を促しました。また、求人者にはハローワークで行う求人説明会への参加、ハリーアップ求人（求人広告）の玄関への張り出しを周知することに努めました。

しかしながら、求人者は比較的若い人を望んでいるのに対し、求職者は高齢者が多く就職につながる件数が少なかったのが現状です。

結果として、就職件数目標値1,278件に対し、実績値1,208、達成率は94.5%でした。

令和6年度においては、引続きハローワーク利用者を増加させるべく、あらゆる機会を通じて利用を促してまいります。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

当所においては、前年度まで雇用保険受給者の早期再就職件数が伸び悩んでいた現状がありました。

そこで、雇用保険受給者の早期再就職を促進するため、再就職手当のメリットが理解しやすいよう、ポスター・リーフレットの作成を行い、雇用保険受給者に周知するとともに、職業相談の際、再就職手当のメリットに関する説明が一律にできるよう、担当者への研修を実施しました。

結果として、目標値年間323件に対し、実績値365件、達成率113.0%となり、目標を達成することができました。

令和6年度においても、引続き職業相談担当、雇用保険担当が一丸となり、早期再就職を促す取り組みを実施してまいります。

### （3）その他の業務運営についての分析等

令和5年度においては有効求人数が減少しているのに対し、有効求職者数は横ばい状態にあります。また、有効求人倍率は県内でも最低水準が続いています。

このことから、求人者マイページの利用率80.0%以上を維持しつつも、求人開拓を積極的に実施し、新規求人を確保するとともに、管内では高齢者求職者が多いことから、そのニーズに合った求人情報の提供ができるよう努めてまいります。

### （4）今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

ハローワークで提供している各種サービスをより多くの方に知っていただくため、岡山労働局ホームページに新設されたハローワークのページを活用するとともに市町や商工会議所等と連携して積極的なPRを展開します。

また、当所の求職者の約3割を占める高齢者の就職促進のため、60歳以上の方を対象とした「シニア専用求人」の申込みを事業主に働きかけます。

さらに、利用者目線で見え気持のよい明るいオフィスとなるよう環境整備や利用者の立場に立った「懇切、公正、迅速」な対応に努めていきます。

## 2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハロー ワークの 職業紹介 により、 正社員に 結びつい た就職氷 河期世代 の不安定 就労者・ 無業者の 件数	生活保護 受給者等 の就職率						
令和5年度目標	1,278	1,022	323	90.0%	90.0%	130	64.6%						
令和5年度実績	1,208	873	365	83.1%	95.2%	137	79.1%						
目標達成率	94%	85%	113%			105%	122%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

# ハローワーク高梁 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### ○数値目標の徹底

- ・非常勤職員も含め全職員がハローワーク評価について認識することが必須であるため、4月17日～4月21日に所長が講師となって職員研修を行い、ハローワーク評価の意義等を伝えるとともに今年度の目標値達成に向けて取り組みを指示した。
- ・就職件数、充足件数等については、毎日進捗状況表を作成し掲示するとともに幹部会議、所長メールにより進捗状況及び今やるべきことを周知徹底することで職員全体として目標に向けて取り組むことができている。

#### ○求人者サービス強化

- ・求人者マイページの普及から事業所との接触機会が減少し求人票の内容が事業所任せとなっている状況が見られたことから、求人票記載内容のうち、特に仕事内容欄の記載を内容・ボリュームとも充実させ、充足数の向上とその前段となる応募者数の増加を目的とした「『見てもらえる求人へ』求人票記載ブラッシュアップ実施要領」を策定し取組を実施した。
- ・充足数の向上、応募数の増加につながらないケースについても事業所との関わり、信頼関係構築の面において一定の効果がある。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

#### ○管内自治体との連携

- ・令和5年2月13日に締結した高梁市及び新見市と岡山労働局による雇用対策協定に基づき、共通の目標へ一体となって地域の雇用対策に取り組むことの一つとして新規イベント「高梁市・新見市・吉備中央町合同就職フェア」を開催した。

#### ○求人者マイページの普及に伴う対応

- ・求人者マイページの開設率向上に伴い求人数減少の動きが見られることが課題となっていたことから、求人者マイページの開設、マイページからのオンラインによる求人申込みの普及について事業主の反応にあわせた、より丁寧な支援を実施した。
- ・求人者との接点を確保するため上記「求人票記載ブラッシュアップ」やマイページへのイベント情報の提供など求人者サービスに努めた。

### (3) その他の業務運営についての分析等

#### ○らくらく求人検索カードの作成配付

・「求人検索が難しくて上手く検索できない」との声に応えるため、需要の多い職種が一発検索できるQRコード入りのカード、さらに希望職種等に応じたオーダーメイドのカードの作成配付を継続しており、利便性の確保が維持できている。

#### ○ケーブルテレビを活用した周知広報

・ハローワーク高梁で実施している各種サービス内容を周知し利用促進を図るため、キビケーブルテレビでCM放送を継続しており、潜在求職者を含めて利用促進につながっている。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

#### ○管内自治体との連携

・「高梁市・新見市・吉備中央町合同就職フェア」の継続開催に向けて参加者数の確保等の取組が必要となっている。

#### ○商業施設を活用した職業訓練説明会、職業相談会の開催

・株式会社イズミゆめタウン高梁店の協力を得て「職業訓練説明会&職業相談会inゆめタウン高梁店」の開催継続を予定しているが、利用者数が少ない状態が続いており、周知の強化、開催手法の見直しが必要となっている。

#### ○ケーブルテレビを活用した周知広報

・ハローワーク高梁で実施している各種サービス内容を周知し利用促進を図るため、引き続きキビケーブルテレビでCMを放送することとしている。

#### ○地域の現状への対応

・地域的に人口減少、高齢化が顕著な現状を踏まえ、多様な働き方の提案など事業所の理解促進を含めた高齢者就職支援が必要となっている。

また、事業所ニーズに見合った若年求職者の減少、応募者の減少等から利用者満足調査において事業所満足度が低迷しており、事業所の利用満足度を改善するための取り組みが必要となっている。

## 2. 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価



### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無 業者の件数	新卒者支援 に係る就職 支援ナビ ゲーターの 支援による 新規卒業予 定者等（既 卒者含む） の正社員就 職件数						
令和5年度目標	902	843	234	90.0%	90.0%	120	140						
令和5年度実績	886	779	197	77.7%	95.4%	148	191						
目標達成率	98%	92%	84%			123%	136%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

## ハローワーク笠岡 就職支援業務報告（令和5年度）

### 1. 所長による分析（業務運営の総括）

#### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

当所では、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、求職者担当者制の充実による個別就職支援を行い、認定日における全員相談、緊要度・希望条件の確認、再就職手当の活用促進、求職活動支援セミナーの受講勧奨に努めました。また、給付制限中の来所勧奨による相談を行うことにより、早い段階での再就職促進にも努めました。  
結果として、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成はできなかったものの、一定の成果を得ることができました。

#### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

企業にとって人手不足がなお深刻な状況にあるため、求職者に対して、ハローワークのサービスメニューの周知と子育て世代を中心とした女性や高齢者への支援強化を図り、求人者に対しては、求職者への求人情報の提供や未充足求人のフォローアップに工夫を重ねて早期充足に努めました。  
また、求人・求職双方の利用者サービスの向上を図るため、求人・求職者担当者制の取組を一層推進していきます。

### (3) その他の業務運営についての分析等

ハローワーク利用者からは面接会の開催要望があることなどから、地方自治体との共催による面接会や、ニーズの高い新規事業所の会社説明会や面接会の開催を計画、実施をしました。

また、求人者からは、求人提出後の早期充足要望が多かったことから、週刊ホット求人情報の発行、求人充足会議の開催、未充足求人のフォローアップなど、早期求人充足に努めました。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

新規求職者数は前年度と比較して約1.3%の微増に対して、新規求人数は約12.6%の減少となりました。このことから、あらゆる分野での求人確保を目指していくとともに、介護職をはじめとする特定の分野での人手不足感の強い求人充足のフォローアップを行っていきます。

また、有効求職者のうち約4割が45歳以上の中高年齢者となっていることから、中高年齢者が応募可能な求人の確保に努めてまいります。

## 2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 び付いた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無 業者の件数	障害者の 就職件数	生涯現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職件数					
令和5年度目標	2,093	1,644	556	90.0%	90.0%	260	125	57					
令和5年度実績	2,007	1,414	546	75.3%	97.1%	184	128	60					
目標達成率	95%	86%	98%			70%	102%	105%					

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

# ハローワーク西大寺 就職支援業務報告（令和5年度）

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

- 1 各指標に対する取組  
就職件数の向上に向けた取組として、応募書類の添削サービス及び面接練習をより多く取り入れた他、就職支援にかかる事例研究を複数回実施し、マッチング効果を高めました。  
また、求人充足数の向上を目的として、事業所見学による作業風景写真の入手とその展示サービスを積極的に実施しました。  
さらに、年々増加している高年齢求職者を重点支援対象者として捉え、生涯現役支援窓口を中心とした求職者担当者制による支援の他、高年齢者の雇用に理解を示す求人の掲示や求人情報誌を発行し、高年齢求職者への情報提供を積極的に行いました。
- 2 中長期的な職員の資質向上に向けた取組  
当所では、職業相談・職業紹介時等における職員の資質向上を図る観点から、事業所訪問を積極的に実施し、求人事業所のより詳細な情報収集を図り、それぞれの事業所の求める人材像や現場の画像情報など、求人票の内容以上の情報の提供に取り組みました。  
また、所内での職業紹介にかかる業務研修を複数回開催し、知識の習得を図りました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

求職者に対するアンケートを見直し、緊要度の的確な把握と個々のニーズに合わせた支援メニューの推進を行いました。  
ハローワークの利用案内リーフレットの刷新や待合への大型モニターでの利用案内を実施しました。  
また、訓練ニーズが比較的高いハローワークであることから、訓練パンフレット類の展示方法を求職者の視点で改善した他、欲しい情報を安易に探すことができるよう、すべてのパンフレット類を求人者・求職者の視点で展示方法の改善を図りました。

### (3) その他の業務運営についての分析等

令和5年度の就職件数及び求人充足数は、令和4年度に続き目標値には達することができませんでしたが、令和4年度は、就職件数89.1%、求人充足数87.5%の達成率であったものが、令和5年度は、就職件数91.0%、求人充足数88.0%の達成率と、大きく改善が見られました。

特効薬となる対策はないものの、基本業務を確実に実施した結果であると分析しています。

令和6年度も継続して求人担当者制や求職者担当制の取り組み強化を推進するとともに、職業相談窓口では紹介件数を意識した相談の実施、失業認定窓口では受給者の早期再就職意欲喚起も積極的に行いながら、就職件数、求人充足数の増加に向けた取組を行ってまいります。

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

ハローワーク利用者数は減少傾向が続いていますが、求人担当者制や求職者担当制の取組をより一層推進し、求人・求職者双方の利用者サービスの向上を図ることで、信頼されるハローワークを目指し、利用者数増を図る所存です。

## 2. 総合評価 (※)

### 良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	④ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就職 氷河期世代 (35歳～ 54歳) の不安定就労 者・無業者の件数	⑥公的職業訓練修了 3か月後の就職件数	⑨生涯現役支援窓口 での65歳以上の就職 件数
令和5年度目標	1,869	1,615	555	90.0%	90.0%	134	83	96
令和5年度実績	1,704	1,437	619	94.1%	97.2%	237	82	98
目標達成率	91%	88%	111%			176%	98%	102%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※ 就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。